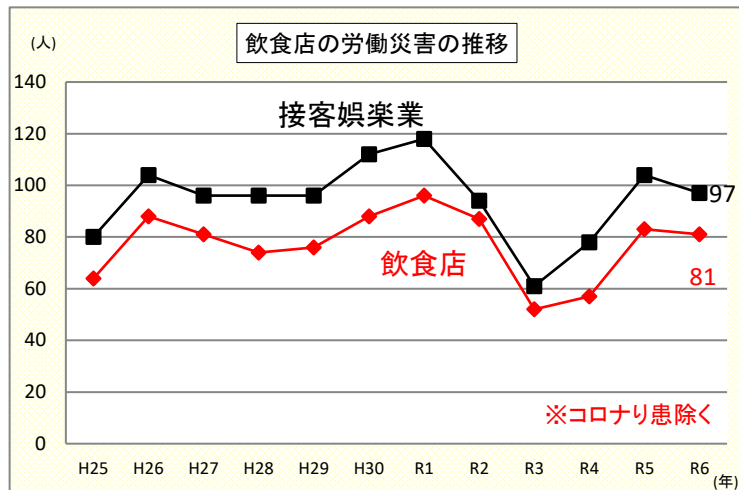


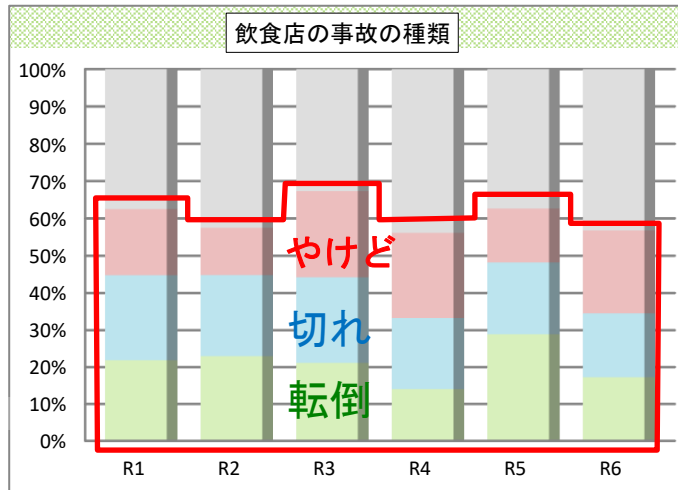
調理場での転倒・切れ・やけどによる災害をなくそう ～行動災害防止を中心とした対策の推進～

管内（新宿、中野、杉並区）の飲食店の労働災害の特徴

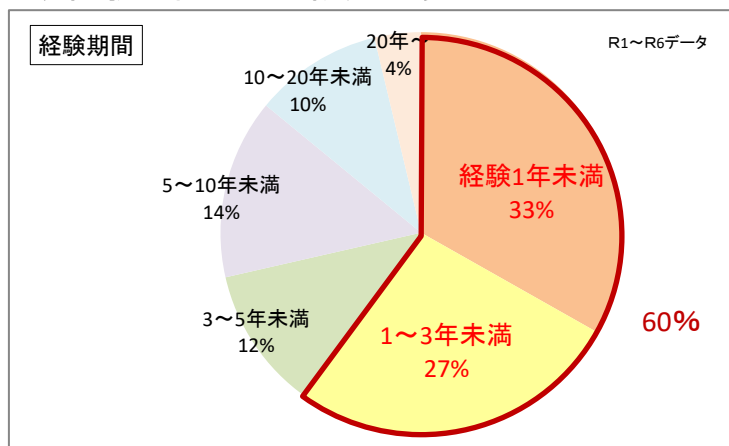
◇令和6年は前年より微減



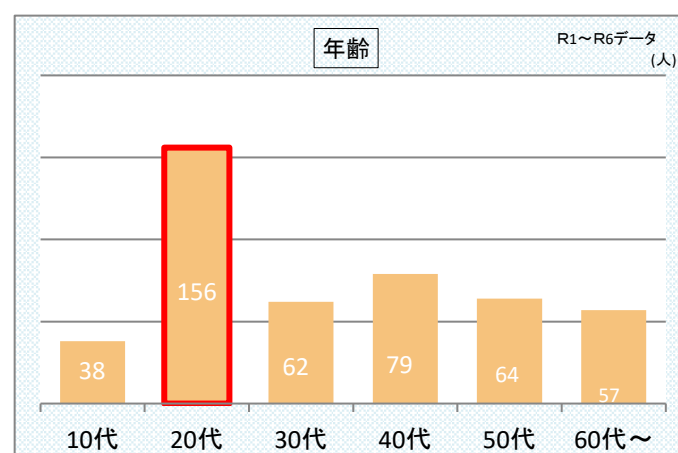
◇転倒、切れ、やけどで6、7割を占める



◇経験3年未満の被災が多い



◇20代の被災多い



※雇入れ時に『禁止事項』『守るべき』事項を教育しましょう

店舗に労災防止の担当者を配置、働く人の安全意識向上

安全の担当者（安全推進者）の配置

安全活動の経験、知識のある者を1名選任し、氏名を掲示
＜主な活動は以下＞

職場内の作業方法、危険箇所の改善

- ①職場内の4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）
- ②包丁や台車等の安全な取扱い
- ③床面の凹凸、水・油等の解消（危険箇所の解消）

働く人の安全意識を向上

- ①朝礼等で労災防止の意義、取り組みの周知
- ②安全な作業（脚立、器具の操作等）の教育
- ③危険の周知（見える化）、私の安全宣言



働く人の安全意識向上（私の安全宣言例）

全労働者が宣言し、その内容を掲示

例

宣言日 令和 年 月 日
掲示日 令和 年 月 日

私の安全宣言

労働災害防止のため 私はこうします！

- ・通路上の整理・整頓を徹底する
- ・スライサー清掃時は主電源を切る
- ・鍋運搬時は周囲を確認する

会社名 (株) ○○ ○○店
氏名 東京 太郎

様式は東京労働局HPよりダウンロード可

ポイント①＜転倒＞



◇労働者に教育を！

- ・調理場内の床面での作業、移動
 - ◇4S(整理・整頓・清潔・清掃)の徹底
 - ◇通路の確保(物の置き場と通路を明確に)
 - ◇水・油等の滑りやすい箇所の除去
 - ◇作業場に合った滑りにくい履き物の着用

ポイント②＜切れ、こすれ＞



◇労働者に教育を！

- ・包丁等の取扱い
 - ◇視線を外さない、安全な切り方を覚える
 - ◇加工物(固い等)に適した刃物の選択
- ・割れた食器や缶の鋭利部分の取扱い
 - ◇素手で扱わない(手袋、ほうき等使用)
- ・スライサー等機械使用
 - ◇異物の除去や清掃時は必ず機械を止める

ポイント③＜やけど＞



◇労働者に教育を！

- ・熱湯、高温の油、スープ等の取扱い
 - ◇取り扱う物に適した服装の着用(長袖、長靴、手袋、前掛け)
 - ◇中身をこぼさない・落とさない持ち方
 - ◇鍋等を安全に運搬できる経路の確保

転倒、腰痛等の行動災害

(労働者の作業行動を起因とする労働災害)の予防対策の推進

特に三次産業で労働災害が増加しており、「転倒」や「腰痛」等の行動に起因する災害(行動災害)が多くを占める。

企業・労働者の行動変容を促し、 災害増加に歯止めをかける

「SAFEコンソーシアム」の設立

全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指す「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」を設立しました。

SAFEコンソーシアム ポータルサイトの活用



高年齢労働者対策

高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン

高年齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや労働災害の予防的観点からの高年齢労働者の健康づくりを推進

働く高齢者が増加！

60歳以上の労働災害1/4以上！
災害発生率が高年齢層で高い！

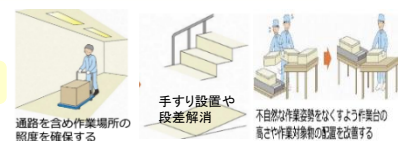
高齢者の就業状況や
業務内容に応じて
実現可能な対策を

ポイント①

『トップの方針表明』と推進するための『体制整備』

ポイント②

『職場環境の改善』



ポイント③

『体力や健康状況』の把握と対応

体力チェックの実施

ポイント④

『安全衛生教育』

時間をかけ丁寧に、わかりやすく

(図、イラスト、映像)



体力チェックの方法、ガイドラインの詳細について→

